第8回「新公共調達制度推進委員会」の開催結果について

- ○開催日 平成21年5月17日(水)
- ○概 要 平成20年度の新公共調達制度による入札実施状況、県建設業協会及び県測量 設計業協会との意見交換の状況について報告の後、以下の事項について検討・協 議を行った。

主な検討事項等

- 1 県内建設事業者等の厳しい経営環境を踏まえ、県内事業者の受注機会の確保に向け、 各発注機関において適正な積算・発注を行うことを再度徹底する。
- 2 入札を取り止める事例が増加する傾向にあることから、各発注機関でチェック体制を 強化する。
- 3 発注者・設計者・施工者の三者で協議調整を行う三者会議の対象工事を平成21年度 から予定価格1億円以上の工事で試行する。

新公共調達制度による入札実施状況等について (県土整備部)

1. 入札実施状況

①建設工事

新制度	1589	85.2	10.2	162 (9.3)	28 (1.8)	96.8	77.5
平成19年度	2430	87.3	15.6	49 (2.0)	503 (20.7)	97.4	86.1
	(件)	(%)	(者)	(件) (発生率%)	(件) (発生率%)	件数 ベース	金額 ベース
	契約件数	平均落札率	平均入札参加 業者数		くじによる落札 決定	県内事業者受注状況 (%)	

※JV契約に係る県内事業者の受注分は、出資割合により按分して計上。 ※単価契約分は除外。

②建設工事に係る委託業務

O CE IX T	契約件数		平均入札参加 業者数	入札不成立	くじによる落札 決定	県内事業者受注状況 (%)	
	(件)	(%)	(者)	(件) (発生率%)	(件) (発生率%)	件数 ベース	金額 ベース
平成19年度	1245	83.3	14.5	(0.08)	27 (2.2)	58.6	34.6
新制度	664	71.7	16.2	14 (2.1)	23 (3.5)	60.4	42.5

※単価契約及びその他の役務の調達に該当する業務は除外。